



頑強な口金を一瞬で解体分離し、紙と鉄の再資源化

紙管に付いている口金（鉄製の金具）を一瞬で取り外し鉄と紙に分別する目的で作られた解体機です。簡単な調整とシンプルな機構で高効率かつ老若男女問わない簡単な操作性を実現しました。ベーシックな性能のK-3型、巻き残り残紙付にも対応できるK-2型、の2モデルをラインナップ。



ラインナップ

K-2型 残紙付き対応



外径110~180mmのサイズ内で巻き残り残紙の有無に関わらず対応出来る万能モデルです。外径に合わせた簡単な調整で、複雑な操作は必要ありません。

大きさ 820L×820W×1325H
 重量 約 360kg
 動力 3相 200V 2.2kw
 紙管外径 Φ110~180mm
 回転数 30回/min
 処理能力 180本/H

K-3型 シンプル低価格



巻き残り残紙が取り除かれた紙管を対象としたシンプル機構の低価格モデルです。調整が不要で紙管を差し込むだけなので、どなたでも簡単に使用できます。

大きさ 765L×854W×1206H
 重量 約 210kg
 動力 3相 200V 1.5kw
 紙管外径 Φ110mm
 回転数 30回/min
 処理能力 180本/H

処理例

